



平成 27 年 4 月 3 日

各 位

会社名 株式会社ビックカメラ
 代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸
 (コード番号：3048 東証一部)
 問合せ先 取締役経営企画本部長 安部 徹
 T E L 03-3987-8785

業績予想の修正および子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 10 月 14 日に公表した平成 27 年 8 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社連結子会社である株式会社コジマは、本日、平成 26 年 10 月 9 日に公表した平成 27 年 8 月期業績予想（平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日）を添付資料のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成27年8月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成26年9月1日～平成27年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 402,000	百万円 8,600	百万円 8,300	百万円 4,500	円 銭 26.20
今回修正予想(B)	393,480	8,320	8,380	4,870	28.35
増減額(B-A)	△8,520	△280	80	370	
増減率(%)	△2.1	△3.3	1.0	8.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年8月期第2四半期)	408,562	6,946	9,539	4,750	27.66

(注) 当社は、平成 26 年 3 月 1 日付で普通株式 1 株につき 100 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

(注) 当第 1 四半期連結会計期間より会計方針の変更及び表示方法の変更を行っており、平成 26 年 8 月期についても、当該会計方針の変更及び表示方法の変更を反映した遡及適用・組替後の数値を記載しております。

修正の理由

第 2 四半期累計期間の売上高は、ビックカメラ（個別業績）が主に事業展開する都市部の需要は底堅く、伸長する訪日外国人の消費も寄与し当初の想定を上回りましたが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減からの回復が遅れ当初の想定を下回ったコジマの影響を吸収できませんで

した。

利益面では、粗利率の改善は順調に進んでおり、前述の売上高要因から営業利益は予想を若干下回ったものの、経常利益および四半期純利益は予想を上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、添付資料のとおり連結子会社のコジマが業績予想を修正しておりますが、当社の個別業績が堅調に推移していることから、現時点において修正の予定はありません。

(ご参考) 個別業績の見込みについて

ご参考として、平成27年8月期第2四半期累計期間における個別業績の見込みをお知らせいたします。

平成27年8月期第2四半期（累計）個別業績の期初予想値と見込みとの差異

（平成26年9月1日～平成27年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
期初予想(A)	百万円 218,000	百万円 5,300	百万円 6,200	百万円 3,600
見込み(B)	221,120	6,070	6,950	4,560
増減額(B-A)	3,120	770	750	960
増減率(%)	1.4	14.5	12.1	26.7

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以 上



平成 27 年 4 月 3 日

各 位

会社名 株式会社コジマ
 代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 一義
 (コード番号 7513 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員経営企画本部長
 荒川 忠士
 TEL 03-6907-3114
 当社の親会社 株式会社ビックカメラ
 代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸
 (コード番号 3048 東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 10 月 9 日に公表いたしました平成 27 年 8 月期(平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(1) 業績予想の修正について

平成 27 年 8 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想数値の修正 (平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	123,000	840	100	0	0.00
今回修正予想 (B)	110,000	△210	△770	△930	△11.94
増減額 (B-A)	△13,000	△1,050	△870	△930	
増減率 (%)	△10.6	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 8 月期第 2 四半期)	126,318	△1,480	833	211	2.72

当社は、当第 1 四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 8 月期第 2 四半期) の経営成績は個別業績を記載しております。

(2) 業績予想の修正について

平成 27 年 8 月期通期業績予想数値の修正 (平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	254,000	4,500	3,500	2,100	27.39
今回修正予想 (B)	236,000	3,000	2,100	440	5.65
増減額 (B-A)	△18,000	△1,500	△1,400	△1,660	
増減率 (%)	△7.1	△33.3	△40.0	△79.0	
(ご参考) 前期個別実績 (平成 26 年 8 月期)	262,216	2,421	5,699	1,042	13.37

当社の商品の評価方法は、従来、総平均法によっておりましたが、平成 27 年 8 月期第 1 四半期会計期間より、移動平均法に変更しております。

この変更は、親会社であるビックカメラとリベートを含めた商品の粗利益の管理方法を統一し、より正確な商品金額及び期間損益の計算を実現することを目的として、新会計システムに移行したことに伴うものであります。なお、(ご参考) 前期個別実績 (平成 26 年 8 月期) につきましては遡及適用後の数値となっております。

(3) 修正の理由

第 2 四半期累計期間の業績予想につきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減からの回復が遅れたことから、売上高は前回予想を下回る見通しとなりました。利益面につきましては、ビックカメラとの仕入統合効果等による売上総利益率の上昇に加え、不採算店舗の閉鎖による抜本的な経費削減にも努めましたが、売上減少に伴う売上総利益の減少分を補いきれず、営業利益は前年比で約 12 億円改善しているものの、営業利益、経常利益、四半期純利益において前回予想を下回る見通しとなりました。

上記の理由から、通期の業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。なお、当期純利益につきましては、平成 27 年度税制改正に伴う法人税率の引き下げや欠損金の繰越控除制度の見直しにより、繰延税金資産の一部取崩しが生じる影響を含んでおります。

(注) 本資料の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、今後さまざまな要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上